

令和2年度 自己評価結果

No.1

ひがしこども園

今年度は「子どもの主体的遊び」について職員間で共通の理解をもつために「あ～おもしろかった」の参考文献を職員全員で購入し、保育活動内容や環境のあり方について園内研修で学び、日々の保育の中で「できた！」の経験の積み重ねから、さらなる子どもの意欲に繋がっていきたいと考えている。

しかしながら、日々の保育に追われてしまい各自の振り返りや意識の向上がままならないこともあり、3ヶ月を経過し、いま一度自身の振り返りや意識の再確認の機会とした。内容は昨年度のものを基本としたうえで、チェック項目を細かくし、より深く見直すことができるようにした。

- ① それぞれの項目ごとにチェックし（A～できている、B～ほぼできている、C～できていない）、B・C評価の理由及び改善策を考えた。

各自の振り返りと合わせて、他の人の気づきを自分の中に取り込んでいき、各自の資質向上へと繋げていく

- ② 各項目についての気づき（B・C評価の理由及び改善策から）

『法人及びこども園の基本』

- ・おおまかな理解であり、もっと意識して仕事に取り組まなくてはと思う。
- ・わかっているが聞かれた時に考えてしまうので、いつでもスラスラ言えるように常に意識していく。

『勤務』

- ・もっと時間に余裕をもって出勤するよう心掛ける。
- ・時間ギリギリの時があるため数分前行動をしていく。
- ・急な欠勤の場合も自分でしっかり連絡をする。

<服装・身だしなみ>

- ・毎日しっかりできていない。
- ・見られていることを意識する。
- ・心地よい素材のものを選ぶことを心掛けたい。
- ・コロナウイルス感染予防対策の自粛のため、美容院になかなか行かれず髪の色を保つことが難しかった。

- ・爪きりを意識する。
- ・黒い色の服装が多いので、明るい色の服装をもっと取り入れていきたい。
- ・慌てて着替えて逆になっていることがあったので気をつけたい。
- ・髪をきちんと「おだんご」にすることを意識する。
- ・以前購入したキャラクターデザインのものを着用しているが、今後、購入する時は気をつけたい。

<早番で気をつけていること>

- ・仕事に慣れていないため、早めの出勤を心掛けている。
- ・視診をし健康状態を確認し伝言を受けた時には、担任に報告する。
- ・気持ちのよい挨拶。
- ・子どもが怪我をしないように、万遍なくみていく。(年齢差があるため遊び方や安全に配慮する。

<遅番で気をつけていること>

- ・担任からの伝達事項を確実に保護者に伝える。
- ・子どもが怪我をしないように、万遍なくみていく。
- ・体調の変化に気をつける。
- ・お迎えにきた保護者に一言必ず声かけし、知らぬ間に帰ってしまったということがないようにする。
- ・鍵(施錠されているか)の確認。

『挨拶』

- ・「ながら挨拶」してしまう時があるため気をつけたい。
- ・話をしている方の横を通る時には挨拶していいのか悩みます。
- ・誰とでも気持ちのよい挨拶をかわせるよう心掛ける。
- ・外来者には挨拶だけでなく「お世話になります。」と、必ずいう。

『言葉遣い』

- ・いつも周りに子どもがいることを意識する。

『連絡』

- ・疑問点があってもそのままにしていたので、気をつける。

『報告または出張報告』

- ・口頭報告を忘れてしまう時があるため、メモをして気をつける。
- ・報告書など紙面的な報告はしているが、提出のみで口頭報告がきちんとできてなかったため気をつける。

『書類』

- ・丁寧に書くことを心掛ける。
- ・文章表現力がないので本を読んでいきたい。
- ・要約して書くことが苦手なので、読書を大事にしたい。

『電話対応』

- ・表情が見えないので、声のトーンや言葉遣いに気をつける。
- ・まだ電話に出ることが少ないので、焦ってしまう時があるため、出る前に落ち着いて出るように心掛ける。
- ・敬語が咄嗟に出てこないため日頃から言葉遣いに気をつける。

『職種別仕事』

<保育教諭>

—職員の連携—

- ・トラブルにならないようにきちんと伝えていく。
- ・連携はとても大切だと思いつつ人任せになってしまっている部分もあり、まずは、自分が動く・知恵を出すことを心掛けたい。

—保育室—

- ・一時的に棚の上に置く時もスッキリ置くことを心掛け、片付け忘れた時も対応可能になるようにしたい。
- ・小動物の世話を積極的にしていきたい。
- ・保育終了後の室内環境整理は心掛けているが、日中は棚の上に物を置きがちなので時間にゆとりをもち、保育活動や内容にも見通しをもっていきたい。
- ・帰りに振り返って「きれいな保育室」を保てるように心掛けたい。

—教材の準備—

- ・初めての活動の際、事前に試さずにやっちゃったり、活動準備を直前にしていることがあるので気を付けていきたい。
- ・子どもが主体的に遊べる環境や玩具の提供を心掛けたい。

『公私の別』

- ・子どもから意識を外さないようにする。
- ・子どものことを話ながらも自分の話をしてしまうので、気をつけたい。
- ・見通しを持って取り組みゆとりをつくり整理整頓、片付けが常にできるようにしたい。

『社会的責任』

- ・クラス内で話をして上司に報告できていない時があり、指示を仰げず困ったので、気を付けたい。
- ・自分の思いよりも相手の気持ちを受け止める努力をしたい。

- ・自分の思いや主張が強くなりやすいので、すぐに解決・返答せずに上司に相談していききたい。

『子どもとのコミュニケーション』

- ・気を付けているつもりだが、定期的に自分の保育を見直して振り返りたい。
- ・気持ちに余裕がないと「ダメ」や「〇〇しないと〇〇出来ないよ」と言ってしまうがちなので、余裕を持って接することを常に心掛けたい。
- ・子どもが安心して過ごせるように努力していききたい。
- ・子どもの姿、状態を把握し適切な援助をしたい。

『保護者との対応と支援』

- ・話しかけにくい保護者にも声をかける。
- ・子どものことを第一に考えすぎてしまい、その背景にいる保護者への気遣いを忘れがちなので、まずは保護者の状況を考えたい。
- ・保護者を理解することから始めて、少しずつ関係を深めていききたい。
- ・保護者の状況を自分に置き換えて考えて接したい。
- ・今年は特に(コロナ禍)参観会などが行えない状況なので、子どもの姿を丁寧に伝えたい。
- ・連絡帳やお便り、配布物は配るだけでなく子どもがきちんとカバンにしまうまで見届け、間違いのないように気をつける。

『資質向上』

- ・子ども達がよりよく過ごせるように努力していききたい。
- ・今やらなくてはならないことに精一杯でより高みを目指すところにはまだ気持ちが届かないのが正直なところです。
- ・協調性をどう高めていけばよいかわからず受け身になりがちなので、リーダーシップを取れるように努力していききたい。
- ・まずは園内研修で学んだこと(わらべうたや環境設定)をより深く自分なりに学び、力としたい。

『研修』

- ・園外に出て学ぶことにもっと積極的になりたい。
- ・常に学ぶことにもっと積極的になりたい。

—自己評価をしての全体的な感想と自分の課題及び解決策—

- ・法人の理念や基本方針、教育目標など忘れがちなので、日々意識していききたい。
- ・保育の振り返りをして気を付けていけば解決することもあるので、自身の仕事への姿勢を見直してできることから改善していききたい。
- ・気を付けているつもりだが、今回のチェックで甘かった部分がはっきりし、見通しをもつだ

けでなく振り返りの大切さも感じた。

- ・反省点が毎回同じで、自分の甘えが原因であると思う。主体的遊びには努力していきたい。
- ・日々の保育が子どもたちにとって楽しいものになるように教材や環境の学びを積極的に取り組んでいきたい。
- ・本を読んで知識を蓄え活かしていきたい。

—園全体で取り組んでいきたいこと—

- ・主体的保育とは、(環境・遊びー活動)について今後も学び続ける。
- ・思い込みや記憶違い、連絡の行き違いなどがないように回覧板だけでなく職員の連絡掲示板を設ける。
- ・絵本の読み聞かせを日々の保育に取り入れて、子どもの反応やクラス内で人気の絵本を職員間で紹介、情報を共有する。
- ・近年は生活全般が「自動化」されて手・指を細かく動かすことが減り、子どもの不器用さが感じられるため、手・指を意識して動かす遊びを学び全体で取り組んでいく。